

世界かんがい施設遺産

きただておおぜき

北楯大堰

[山形県・庄内町]

- かつて不毛の地であった最上川左岸側地域は、北楯大堰の開削により約5,000haの新田開発が進み、その後の57年間で46の村落が開村。
- 1612年に着工した約10kmの開削工事は、1日約7,400人の人夫が動員され、わずか4ヶ月で完成。
- 平成の名水百選にも選ばれた立谷沢川から取水し、ブランド米「つや姫」「雪若丸」等を生産する米どころ庄内平野を形成。

Kitadate Irrigation System

米どころ庄内の礎を築いた悠久の流れ



米どころ庄内平野



1655年 狩川大堰（北楯大堰）絵図



昭和初期（上）と現在（下）の北楯大堰

問い合わせ先 最上川土地改良区 TEL. 0234-43-2255